

湧水郷

嘉島町立嘉島西小学校
学校だより 第6号
令和2年6月30日 文責 信國

心身の健康のために

子どものはなしを
じっくり聞いてあげてくださいね



学校再開から1ヶ月が経ちました。頑張っている子どもたちですが、朝から元気がなかったり、授業中姿勢が崩れやすくなったり、午後は眠そうにしていたりとやや疲れも見えてきました。やはり、3ヶ月の休業期間は、子どもの心と体の健康に大きな影響を与えているのではないかと改めて考えさせられます。朝起きて、ご飯を食べて、学校で勉強し友達と遊び、家に帰るといったこれまであたりまえであった日常の行動が、少し高いハードルになってはいないか、その影響で心と体のバランスが崩れている子もいるのではないかと考えます。

学校では、6月15日(月)から7日間、担任が子ども一人一人とお話をする時間(二者面談)を設けました。担任は、普段から子どもたちの表情をとらえたり、つぶやきに耳を傾けたりするように心がけていますが、1対1でじっくり話す時間はなかなか取れません。子どもたちの休業中の生活ぶりや学校生活で困っていることなどをしっかり聞き、今後の学級経営に生かしていきます。

お家ではどうでしょうか?遅くまでゲームをしている様子やイライラした様子、これまで以上に朝起きられないといったことはないでしょうか?普段と変わった状況は、何かのサインかもしれません。お休みの日など、ゆっくり、じっくり子どもさんとお話をしてみてはいかがでしょうか。心配なこと等あれば学校にも教えてください。ともに解決していきたいと考えます。

「笑顔であいさつ」(運営委員会発表)

6月24日(水)の全校集会(校内放送)では、運営委員会から3つの

【運営委員会】委員長:金子夏歩
大山田悠真、藤木愛里、福嶋万生
福留伊織、橋本阜平(6年)
和田七海、紫藤彪仁、富士登陸
笠侑姫、中村優希、野口怜椰(5年)

ことが提案されました。1つは、「笑顔であいさつ」2つめに「思いやりで、みんな仲良し」3つめは「チャレンジ」です。特に1学期は「笑顔であいさつができる学校」です。地域の方や保護者、先生へのアンケートをもとに説明し、感謝の気持ちをあいさつ

で返していきましようと呼び掛けてくれました。早速、校内ではあいさつの輪が広がっています。これから、きっと地域にも広げてくれると信じています。

Tシャツをいただきました!

町から町内すべての小中学生と学校職員に贈られたもので、23日(火)に町長が直接Tシャツの贈呈においでになりました。すでに多くの子どもたちが着用しています。感謝の気持ちでどんどん着ましよう!

